

指定管理者評価票

年度	令和7年度
担当部署	福祉部 福祉課 障がい者支援係

1 公の施設

施設名称	瑞穂町精神障害者共同作業所「ころぼっくる」		
所在地	瑞穂町大字駒形富士山178-1		
施設概要	敷地面積952.76㎡、建築面積205.82㎡、木造平屋建 屋内作業所、事務室、面談室、休憩室、食堂、浴室、倉庫、トイレ、玄関		
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成18年4月	導入後	20 年経過

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	特定非営利活動法人みずほまち精神保健福祉会			
	所在地	瑞穂町大字箱根ヶ崎806-1			
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	選定方法	非公募	利用料金制	導入
指定管理の目的及び求める効果	長期にわたり精神障がい者に対し、社会復帰等の支援を行ってきた民間活力及び経験を取り入れることにより、精神障がい者の自立支援を効率的に実施することを目的とします。				
指定管理の業務内容	1 共同作業所の運営に関すること 2 施設及び設備の維持管理に関すること				

3 施設の利用状況

（単位：人、円）

利用状況（量）を示す指標名		前指定末 令和2年度	指定期間中の実績				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	施設延べ利用者数	2,562	3,002	2,942	2,964	3,067	3,070
②	就労移行支援利用者実数	5	1	5	3	3	1
③	就労継続支援B型利用者実数	16	19	18	19	20	22
④	一般就労、福祉的就労者数	2/0	1/0	0/0	1/0	1/0	1/0
⑤	平均工賃	11,747	11,647	13,507	20,397	20,242	21,615

4 指定管理者の収支状況

会計方式

発生主義

（単位：円）

		前指定末 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	指定管理料	3,265,000	3,026,000	3,501,000	4,212,000	3,563,000	3,644,000
	利用料金収入	21,436,021	28,168,973	23,260,892	22,518,566	27,008,766	26,229,574
	その他	16,748,513	7,918,074	6,503,151	6,387,229	6,843,511	6,281,037
	計	41,449,534	39,113,047	33,265,043	33,117,795	37,415,277	36,154,611
支出	支出	27,017,000	30,434,728	29,440,517	33,070,216	35,150,307	36,306,246
	うち修繕費	0	84,216	179,089	313,720	281,930	180,282
	うち人件費	22,840,340	24,586,876	24,969,748	26,542,128	27,598,797	29,951,131
	その他	4,176,660	5,763,636	4,291,680	6,214,368	7,269,580	6,174,833

5 今年度の変更点

施設管理・改修に関する こと	令和3年度	結束機修理3回、丸鋸修理3回（事業者）
	令和4年度	丸鋸修理13回（事業者）、作業室空調修繕（町と事業者案分）
	令和5年度	丸鋸修理8回（事業者）作業室エアコン取付工事（事業者）ドア修理2回（事業者）
	令和6年度	丸鋸修理19回（事業者）給湯器取付工事（事業者）洗面化粧台給湯修理（事業者）
	令和7年度	丸鋸修理19回（刃）および機器修理（事業者）トイレ換気扇修繕（事業者）
事務改善及び効率化等 に関すること	令和3年度	税理士との顧問契約、会計及び総務人事事務を事務局に一本化
	令和4年度	事務関係のデータをクラウド保管、セキュリティの強化と階層化
	令和5年度	保険や車両に関する契約を事務局に一本化。給与振り込みを銀行委託で効率を図りました。
	令和6年度	事務局体制を見直し、令和7年度より新体制で運営すべく合理的な組織化を進めました。
	令和7年度	ITアウトソーシングを提供するマネージメントサービスの導入に着手しました。
利用状況に関すること	令和3年度	福祉バスの廃止に伴い下半期から送迎を開始 農業作業の拡大と販路拡張
	令和4年度	薪の販路拡大に向けて営業活動
	令和5年度	送迎利用の増改に従い朝の送迎を1便増加しました。
	令和6年度	利用者個々の障がい特性に配慮し作業場のレイアウトを変更しました。
	令和7年度	送迎を1便増やし利用者の利便性を高めました。

6 経費比較（前指定末と指定後）

（単位：円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
算定	指定後	3,373,000	3,706,000	4,996,800	3,668,000	3,749,000
	前指定末（令和2年度）	3,383,420	3,383,420	3,383,420	3,383,420	3,383,420
	比較	-10,420	322,580	1,613,380	284,580	365,580
実経費	指定後	3,026,000	3,601,000	4,212,000	3,563,000	3,644,000
	前指定末（令和2年度）	3,265,000	3,265,000	3,265,000	3,265,000	3,265,000
	比較	-239,000	336,000	947,000	298,000	379,000

※実経費では、「町職員人件費」及び「物品提供金額」を除外

7 個別評価

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価の着眼点	評価	管理者評価理由	評価	担当者評価理由
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・条列で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	協定書に即した事業展開を条列で示した開所日数で行いました。	5	協定書・仕様書で示した事項について、適切に履行されています。
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	5	敷地内外の清掃、整理整頓を心掛けています。火災・防犯設備等の保守点検を実施しました。敷地入口の棕櫚の木の伐採を行い電線の接触や倒木を防ぎました。	5	清掃、維持管理は適切に行われています。設備の保守点検も計画通りに確実に実行されています。
インフット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。 指定管理料は適正か など	5	契約の指定管理料に加え物価高騰の増額があり助かりました。次年度以降の指定管理料について福祉課と建設的な話し合いを持つことができ安心することができました。	5	施設の老朽化に伴う修繕、物価高騰等による経費増等については、ヒアリングを行い、指定管理料の増額や町予算での対応を順次行っています。令和7年度は物価高騰対策で239,000円を補正予算で増額しました。
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	町職員からは必要に応じて相談や助言があり、連携が行われています。個人情報保護に関する資料の紹介をいただき助かりました。	5	施設職員とは日頃から密に連携しています。施設側での規定・ルール等変更の際には、必要に応じて参考資料を提供しています。
アウトフット指標	利用者数の状況 (事業の活動量、活動実績)	事業計画とおりの利用状況になっているか。 ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因考慮) など ・利用者の満足度を得られているか。 ・職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	登録者数、利用延人数共に増加しています。今年度は一般就労した利用者は1人でした。職員の6:1の配置基準は維持することができました。	5	令和6年度に国が改定した人員配置基準を維持し、障がい特性や病状に合わせた一層丁寧な支援が行えるようになっています。障害特性や病状への配慮も行っており、利用者からの苦情等もありません。
	施設の稼働状況 (稼働日数・貸し出し日数)	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか など	5	条例に示した開所日数で運営しました。地域のイベント等も積極的にさんかしました。利用者を1名就労に繋げることができました。	5	精神障害者を主な対象とした就労継続支援B型、就労移行支援事業所として、条例に示した開館日数どおり、施設の目的に沿った稼働状況となっています。
	利用料収入の状況	事業計画とおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・営業努力の状況は認められるか など	4	前年度新規企業に営業を行い受注できるようになったDMの封入封緘の下請けは好調に売上を伸ばしました。畑の作付けも安定してきて町内保育園の給食に里芋に加え大根も採用してもらえるようになりました。しかし、薪の不調が響き全体的な授産収入の増額には至らず、利用者登録や利用率は上がっていますが加算率が低下し利用料の増収に至らなかったのが残念です。	4	既存業務の対応量を増加させたことや、町内保育園に利用者が作付けした野菜を追加で給食に採用されたことなど、営業努力が認められます。
業務収支	収支の状況	収支のバランスが適切か。 ・経営状況は安定しているか など	4	薪の不調が響き全体的な授産収入の増額には至らず、利用者登録や利用率は上がっていますが加算率が低下し利用料の増収に至りませんでした。加えてガソリンや電気の高騰により支出は厳しい状況でした。町からの物価高騰補助で一息付けた感がありますが次年度も厳しい状況は続くので増収と経費削減に努めたいと思います。	4	利用登録者数や利用率は増加したものの、一部事業の売上が減額となったため収支はマイナスとなりました。今後人件費や光熱費等の上昇が続くことが予測されるため、経費削減などに努め、適正な収支バランスを維持する必要があります。
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	利用者との面談は随時応じられる体制をしいています。個別支援計画作成に当たっては障害特性に配慮し、利用者の自主性を尊重しています。障害特性や作業内容によって細やかな配慮をしています。送迎ルート時間など細かく計画し、利用者個々のニーズを満たすよう努めています。野外での活動量の少ないことへの対応として畑作業の全員参加を目標とし、人数分の装具をそろえました。	5	個別支援計画を立て、利用者の病状・障害特性に配慮するとともに、作業環境の改善を図るなど、利用者の意向を反映した改善が講じられています。
	プログラム等質の改善	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	例年通り、職員育成の一助として、内外研修の義務化や資格取得の奨励、補助を行いました。教育体制と評価を明文化し賞金とリンクさせる仕組みに着手しました。利用者支援としては安定的に通所が継続できることを共通目標とし、就労に向けた支援に力を注ぎました。	5	職員の支援力向上に積極的に取り組んでいるほか、個々の病状・障がいに合わせた支援を行い、安定的な通所につなげ、利用延日数の増加につながっています。

標	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	5	運営管理業務とサービス管理業務の担当を分けました。そうすることによって細部に目が行き届き、多方向からの視点で構成された支援が行えています。作業や面談などで気持ちの聞き取りには十分配慮を行っています。利用者の様子の変化は即日職員で共有し対応を定めています。	5	職員間の役割分担を明確化し、複数の視点で利用者に対するモニタリングを行える体制が築かれています。利用者の気持ちを傾聴し、共有すべき点は職員間で共有されて適切な対応がなされています。
遵 法 検 査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	障害者総合支援法や都の指定基準を遵守し事業を行っています。設備面では、車両・フォークリフトの点検、法定点検、消防点検を実施しました。会計監査は税理士確認のうえ監事に監査を受けています。	5	法律や指定基準を遵守して事業を実施しています。必要な点検等は実施されており、事業の実施状況など適宜報告を受けています。
総 括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・経費の状況は適正か。など	5	町職員からは必要に応じて相談や助言があり、連携が行われています。	5	日頃から施設職員との連絡を密に行い、事業報告や予算の時期にはヒアリングを実施して、適正な経費状況となるよう、予算確保に努めています。令和7年度は、都が民間事業所に実施した補助に準じ、物価高騰による光熱費・燃料費等の増に対し、指定管理料を239千円増額しました。